

古文補助プリント②

(一) 助動詞の接続を覚えよう。

○童謡で覚える助動詞接続

1、未然形接続～海は広いな～

うみは ひろいな おおきいな つきが のぼるし ひがしずむ
るらる しむまし むずじむず すさす まほしは みぜんけい

「る・らる・しむ・まし・む・ず・じ・むず・す・さす・まほし」は未然形



2、連用形接続～さくらさくら～

さくら さくら～ のやまも きんとうけい
きけり つねたり けむたし れんようけい

「き・けり・つ・ね・たり・けむ・たし」連用形

→過去や完了の助動詞（「たし」のみ希望）

「き」はカ変サ変型活用語に
接続する時は未然形にも接続

（来+「き」→○来し ○来し）

（す+「き」→○しき ○せし）



3、終止形接続～雪やこんこん～

ゆ～きや こんこ あられや しゅうし
べしらむ ら～し めりまじ しゅうし

ふっても ふっても まだふりやまぬ
な～りは でんぶん すいていのなり

「べし・らむ・らし・めり・まじ」終止「なり」
は伝聞推定の「なり」

→推量や推定の助動詞

ラ変型活用語に接続する時は

連体形に接続＝常にウ段音に接続

（あり+「らし」→○あるらし

×ありらし）



4、その他の接続～お正月～

もういくつねると おしょうがつ
せ～つぞくさみし かんりょうり

おしょうがつには たこあげて
ごとしだんてい なりたりは

こ～まをまわして あそびましょ
たいげんれんたい けいにつく

はやく～こいこい おしょうがつ
のごとしがごとし おぼえたよ

接続サ未四已完了「り」、「ごとし」・

断定「なり・たり」は体言・連体形につく

「の+ごとし・が+ごとし」覚えたよ

「たり」は体言のみに接続
「ごとし」は[体言+「の」+「ごとし」]
又は[連体形+「が」+「ごとし」]の形



毎日歌って
覚えよう！